

団地再編 住みよいまちへ 2012

海外等の団地再生先進事例の動向とわが国におけるストック活用型団地再編への展望
— 関西大学 戦略基盤・団地再編プロジェクトからの提案 —

平成 24 年 11 月 8 日 (木) ~ 12 日 (月)

10:00 ~ 17:00 (最終日は 15:00 まで)
会場：大阪くらしの今昔館企画展示室
(大阪市立住まい情報センター 8 階)

関連講演会

とき
平成 24 年 11 月 17 日 (土)
14:00 ~ 17:00 (受付: 13:30~)

ところ
大阪市立住まい情報センター 3 階ホール

講師
江川 直樹 (関西大学教授)
増永 理彦 (神戸松蔭女子学院大学教授)

定員
100 名 (先着順)

要申込み
申込み方法は裏面に記載

お問い合わせ先
大阪市立住まい情報センター
〒530-0041 大阪市北区天神橋 6-4-20
TEL: 06-6242-1160



団地再編・住みよいまちへ 2012 2012年11月8日(木)～12日(月)

海外等の団地再生先進事例の動向と、わが国におけるストック活用型団地再編への展望
 — 関西大学戦略基盤団地再編プロジェクトからの提案 —

会場で展示しているRe-Danchiパネルのタイトル
 (一部)

- イギリス・マンチェスターヒューム地区の再生
- ドイツ・ライネフェルデ南団地の再生
- オランダ・アムステルダムベルマミア団地の再生
- 団地再編前後の空間比較模型の制作
- 国内団地再編に関わる空間提案の候補団地の選定
- ベルリンの世界遺産 近代集合住宅群を読む
- イギリス社会住宅の団地再生
- アジアの集合住宅・団地の理解
- 浜甲子園団地の再生 さくら街と全体計画
- 既存ストックを活用した団地再生の実践と提案
- 自然と生活と建築と都市
- 同窓会による複合開発と震災復興住宅
- 大阪集合住宅団地 黎明期
- サステイナブルな団地再生
- 住み手主体のコラボティブ住宅・実践の今
- ワークショップ・ハウジング
- 御坊島団地の再生 (1-5 期)
- ヨーロッパ共同の都市づくり憲章
- オランダの空間計画論
- 1.干拓と治水をルーツとする文化
- 2.戦略的プランニングによる土地利用計画
- 3.西部都市圏ラントシュタットの成長管理
- 4.プランニング・ドクトリンによる都市形成
- 5.オランダの社会住宅と家賃補助制度
- さまざまな手法を織り混ぜた埠頭から住宅地への転用-オランダ・アムステルダム東部港湾地区-living heritage としての団地 北欧の団地再生
- 北京百万任住宅団地
- ハノイ集合住宅・団地の現状・GIANG VO 団地の調査

- フランスの近年の団地更新事例について
- 海外団地再生・空間比較の実測調査
- その1イギリス マンチェスター・ヒューム
- その2ドイツ ライネフェルデ・南団地
- その3アムステルダム・ベルマミア
- ヨーロッパの団地再生事例から
- 戦前団地を中心にドイツ・オランダを巡って
- ドイツ編・オランダ編
- ロンドン社会住宅の再生手法と現況
- ブランドン団地・アイレスベリー団地
- ラフボロウ団地・レオホルド団地
- モーツァルト団地・レビューハウス団地
- ランヴェルロード団地・デヴィオット団地
- マーキスロード団地・トレデガー団地
- ノースヘカム団地・ローブリッジ団地
- モンテース団地・ストーンブリッジ団地
- チャークヒル団地・ウッドベリータウン団地
- ホリストリート団地・リファール団地
- エンジェルタウン団地・コインストリート団地
- 再生現場を空間計画の立場から確認して
- ヒューム地区・ベルマミア地区
- 北京における創成期集合住宅
- 団地の建設時の環境 ハノイの集合住宅のDIYファサード
- ハノイでカワイイをさがす 団地の竹下通り
- 再生現場を空間計画の立場から確認して
- La Duchere, Lyon Poptahof, Delft
- Montbeliard-Bethoncourt
- 研究担当の団地再編イメージ
- サステイナブルなコミュニティをめざして
- 千里ニュータウンにおける「再生地処分方式」による建替え」の批判的分析
- 公共賃貸住宅地の団地再生ガバナンス
- 明舞団地と住民活動の実際-団地再生に向けた取り組み
- UR 賃貸住宅を公的に再生・活用する
- 団地再生とはまちづくりである - 神戸の近代都市計画を事例として -
- 郊外ニュータウンのオールドタウン化とその再生
- 規格化と個別化の融合：R.M. シンドラーの集合住宅
- 周辺の環境を高める建築独立住宅の設計から-
- 千里ニュータウン藤白台分譲社「再生地」における住民、公、民間の3者による団地再編
- 団地再生計画-団地からまちへ-仙石市の事例
- ニュータウン：タウンの計画文化とその解体
- 千里ニュータウンは文化的景観か-
- 重層的な生活困難を抱えた単身障害者の住居
- シナリオ・アプローチによる団地再編
- 団地マネジメントの時代へ

わが国の公的集合住宅団地は、人口拡大・都市化の時代に大量に建設されました。そこでは、住宅の老朽化や設備の陳腐化などの物理的な問題のみならず、高齢化率の上昇やコミュニティの弱体化などの社会的問題をも抱えています。その数は、公営住宅で約219万戸、UR都市機構賃貸住宅で約77万戸にものぼり、再生・更新のみならず維持自体も困難を極めています。さらに人口減少時代を迎え、団地の縮退や住宅以外の機能の導入など、住宅地そのものの再生(=再編)が重大な課題となっています。

関西大学戦略基盤団地再編プロジェクトは、平成23年度から5年間にわたる技術開発研究プロジェクトです。本プロジェクトでは、集合住宅団地を、住宅および環境ストックの活用を図りつつ、住民が守り育て自立的に更新していけるような“まち”に再編するため、協議・事業プロセスを含む技術を開発し実践に活かすことを目的としています。本展では、これまでの研究成果(海外等の団地再生先進事例の紹介及び模型による空間比較)を報告し、わが国の具体的な団地を舞台に、ストックを活かしながら団地の構造(仕組み)を再編し、多様で自立的(持続的)な“まち”へ再生する再編技術提案の一端を提示させていただきます。団地再生のあり方について、多くの人々が深く考える機会となることを願っています。

(詳しくはプロジェクトHP< <http://ksdp.jimdo.com/> >をご覧ください)

会期中には、プロジェクトに参加している研究メンバー、学生が会場で説明に当たらせていただく他、映像を使つての海外等の再生事例紹介の解説、団地再生に関する様々な事例の相談会も実施いたします。さらに、会期後になりますが、関連の講演会も実施いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。



関連講演会：2012年11月17日(土)
14:00～15:20
 海外等の団地再生先進事例の動向と、わが国におけるストック活用型団地再編への展望(関西大学戦略基盤団地再編プロジェクトからの提案)
 講師：江川直樹 / 関西大学教授、団地再編プロジェクト代表
15:20～16:40
 団地再生における居住者参加
 講師：増永 理彦 / 神戸松蔭女子学院大学教授

会期中のイベント(期間中毎日)
13:00～14:00
 海外事例紹介:現地調査に参加した研究メンバー、学生による再生事例の映像紹介と解説。対象団地は毎日変わります。
15:00～17:00
 団地再生相談会:団地再生に関する様々なご相談に応じます。一緒に考えましょう。



講演会のお申込み方法

右の申込用紙に、住所・氏名・年齢・電話番号・手話希望の有無を記入してファックスか郵便でお申込みください。参加証をお送りします。「住まい・まちづくり・ネット<<http://www.sumai-machi-net.com/>>」からでも申込み可能です。

大阪市立 住まい情報センター
 大阪市立住まのミュージアム
 大阪くらしの今昔館

申込・問い合わせ先

〒530-8582(住所不要)
 大阪市立住まのミュージアム
 4階住居情報プラザ
 「団地再編・住みよいまちへ2012」係
 TEL:06-6242-1160
 FAX:06-6354-8601

※キャンセルの場合は申込み先にご連絡をお願いします。

※お申込み時にご記入いただいた個人情報、主催者(大阪市立住まのミュージアム、関西大学戦略基盤・団地再編プロジェクト)が保管し、利用状況統計データ及び今後の催し物のお知らせ等に利用させて頂く場合があります。

FAX : 06-6354-8601

「団地再編・住みよいまちへ2012」申込用紙 (11/17)

ふりがな 氏名		年齢
住所	〒	才
電話番号	()	
手話希望	・希望する ・希望しない ※どちらかに○をつけてください。	

※ハガキで申し込まれる方は、この用紙をハガキに貼って利用ください